

中継伝送路への適用 2つのタイプとその統合

Application to trunk transmission lines: Two types and integration of them

衛星通信を中継伝送路に適用する場合、地上方式と併用するタイプと、衛星回線単独で構成するタイプがある。

併用タイプは、通信網の高信頼化のため回線設定の柔軟性を生かし、地上中継伝送路が断となったときの迂回回線、トラヒック変動などを吸収する共通迂回回線として利用される。 < SK-10、DYANET、DYANET >

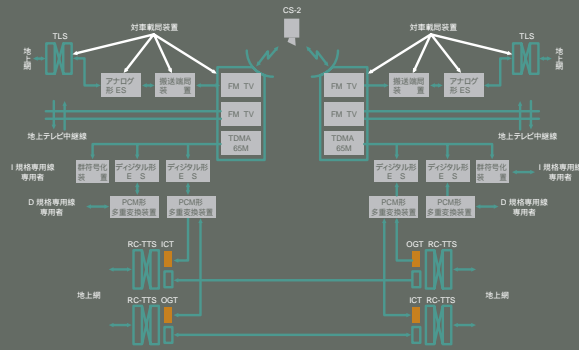
単独タイプは、広域性や迅速性を生かして、離島回線など地上方式の適用が困難な区間に用いられる。

< SC-20、SC-30、DYANET(C) >

また複数の独立した衛星通信システムが存在するときは、場合によって衛星を2回経由するため、遅延による品質劣化が大きくなる。特に離島通信では、必ず衛星を1回経由することになり、2回経由の確率が高くなる。これを回避するために、併用・独立の2タイプを統合するシステムを開発した。 < DYANET-X >

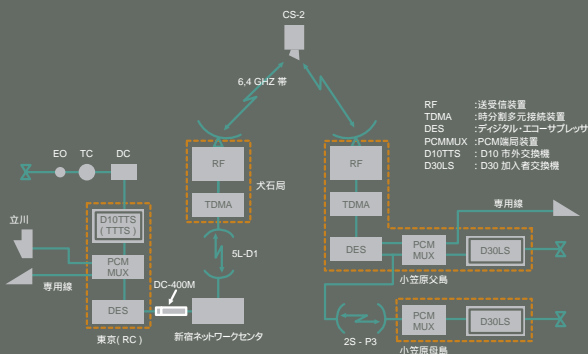
併用タイプの構成例 SK-10

Configuration of a system combining terrestrial-based systems SK-10



独立タイプの構成例 SC-20

Configuration of an independent system SC-20



統合タイプの構成例 DYANET-X

Configuration of a system combining 2 ways DYANET-X

